

2022年3月

第52回春季全国大会参加チーム各位

第52回春季全国大会
新型コロナウイルス感染予防運営ガイドライン（各球場）

初めに、本ガイドラインは日本少年野球連盟新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき作成しています。参加されるチーム、運営される皆様におかれましては、本ガイドラインを遵守して頂き、新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、円滑な大会運営、新型コロナウイルス感染症対策の実施をお願い致します。

A) 球場到着時

- ① 試合開始1時間前に球場に到着すること。早く到着しないこと。

到着後新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを確認する。

- 新型コロナウイルス感染症対策に関する報告書(後述の別紙2、3)を準備する。
- 到着後の待機場所を確認し、球場運営責任者の指示を仰ぎ、速やかに移動を行い、マスク着用、ソーシャルディスタンスを確保し待機する。

- ② 本部席への挨拶は行わず、チーム責任者が到着した旨を本部に伝える。

- 球場責任者は役員、選手登録名簿、オーダー表、

別紙3（毎回）新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿

別紙2（初日のみ）健康管理実施状況申告書を受け取る。

（選手の報告書類、保護者の報告書類は分けて作成し報告については、球場運営責任者の指示を仰ぎ対応する）

- チーム責任者は球場運営責任者の指示に従い対応することとする。

（各球場により自治体から指導されている内容が異なるなどがあるため）

- ③ 本部よりチーム責任者にアルコール消毒液、手洗いハンドソープの設置場所を伝える。

- ④ 球場に到着後も必ずマスクを着用し密になることを避ける。

（チーム責任者/指導者が管理する）

B) 球場入場時

- ① 役員、選手全員に検温、アルコール消毒を実施する。
(大会本部役員立ち合いのもと実施)
- ② 原則、試合終了後、前試合の選手全員が退場したら、選手通路から間隔を空けて球場に入る。
 - 道具についてはベンチの横に置いて試合開始準備を行う。
- ③ ベンチに入った時に一度、ソーシャルディスタンスの確認をしてもらう。
(チーム責任者/指導者が確認する)
- ④ 各球場責任者は、1試合目のチームがベンチ入りするまでに消毒を済ませておく。
 - 第2試合目のチームについては第1試合の選手が退場するまでベンチに入らない。
- ⑤ 審査は事前に預かった選手登録名簿、オーダー表と照合し、チーム責任者立ち合いのもと道具審査のみとする。

C) 試合開始、試合中

- ① 試合中、ベンチ内では必ずマスクを着用し、間隔を開けること。
(チーム責任者/指導者が必ず確認する)
- ② シートノックの際ノッカーは、マスクを着用すること。
- ③ 試合開始、終了の挨拶はホームベース付近に間隔を空けて整列し球場責任者の立ち合いのもと、声を出さずに挨拶のみ行う。
- ④ バット、ヘルメットは、毎回使用後に消毒を行う。
(チーム内で担当を決めて対応する)
- ⑤ 捕手の防具は、自ら着用し補助者を使わない。
- ⑥ メガホンの使用や大声での指導、ハイタッチ等は禁止する。
- ⑦ 飲み物は、一人一人のペットボトルや水筒を使いチームジャグでの回し飲みは禁止する。

D) 試合終了後

- ① 試合終了後は速やかにベンチを開け、球場運営委員が立ち合いのもと各チームで責任を持って消毒を行う。（その際に父兄の協力については可とする）
- ② 試合終了後ミーティング等を行わずに速やかに球場から密を避けて移動する。（原則試合終了後45分以内とする）

E) 球場スタンド・応援

- ① 各球場の観戦ルールに沿い、スタンドにおいても、一度ソーシャルディスタンスの確認をすること。
- ② ソーシャルディスタンス確保のため、スタンドでの応援の際は、テント、ターフ等の設置は厳禁とする。
- ③ 応援は控え選手、保護者共に大声を出さずに静観する。拍手等工夫を行う。
- ④ 試合終了後は、応援チームでスタンドの清掃、消毒を行い、速やかに球場から移動を行う。

本大会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守し、選手を感染から守り、大会に参加し野球が出来ることに感謝し、円滑な大会運営にご理解、ご協力をお願い致します。

公財) 日本少年野球連盟
企画運営部